

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 266 (通算 593 回)

2014 年 5 月 29 日 (木)

入口から出口までのシームレスなサポート——

発達障害学生の入学・学修・キャリア支援の実際

～「困り」「つまづき」の特性/合理的配慮の要点～

- ※ 障害のある学生支援の動向/発達障害とは/困難さへの気づきと段階的な対応/教職員の意識改革
- ※ [明星大] サバイバルスキル獲得/START (大学適応、対人関係、就労準備・社会自立) プログラム
- ※ 合理的配慮とは何か?/大学は何をどこまでやるべきか/「困っていない」心配な学生への対応
- ※ [富山大] 高大移行支援/修学支援と心理教育的支援/就職へのリンケージ/地域社会・企業とのコラボ
- ※ 支援のユニバーサルデザイン化/チーム援助のあり方/「障害」教育から「生涯」教育へ

● 講師陣 ●

徳永 豊 氏 / 福岡大学 人文学部 教育・臨床心理学科 教授
 小貫 悟 氏 / 明星大学 人文学部 心理学科 准教授
 高橋 知音 氏 / (国) 信州大学 学術研究員 (教育学系) 教授
 西村優紀美 氏 / (国) 富山大学 保健管理センター 准教授
 学生支援センターアクセシビリティ・コミュニケーション支援室長
 中村 健 氏 / 立命館大学 経済学部経済学科 教授 経済学部執行部学生主事

2014 年 5 月 29 日 (木) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

 地域科学研究会
 高等教育情報センター

日 時：2014 年 5 月 29 日 (木) 10:00～16:50
 会 場：剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362
 アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷
 駅」麹町口より徒歩 10 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込) 43,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)
 44,000 円 (送料、消費税込)

※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。

※開催後に当日配布資料及び音声 CD をご送付します。
※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたします。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、
 FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 口座名 <(株) 地域科学研究会 >
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
 代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4ライオンズ第 2-106
 Tel:03(3234)1231 Fax:03(3234)4993 〒102-0082
 E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 HP : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆同人組織としての「高等教育計画経営研究所」を創設、KKJ の URL にてご覧ください。

キトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 266

発達障害学生の入学・学修・キャリア支援の実際

2014 年 月 日

(□に✓印を) □当日参加 □メディア参加
 支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込
 必要書類 □請求書 □見積書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 } 11:20	<p><input type="checkbox"/> 発達障害のある学生の特性とその支援 ～ 困難さへの気づきと段階的な対応 ～</p> <p style="text-align: right;">福岡大学 徳永 豊</p> <p>1. 大学における障害のある学生支援 (1) 障害のある学生支援の動向 (2) 発達障害のある学生の支援</p> <p>2. 発達障害のある学生とは (1) 学生の特性と大学生活での困難さ、必要な支援 (2) 学生の状況と支援の現状</p> <p>3. 大学での支援を充実させるために (1) 困難さへの気づき (2) 段階的に支援を検討する (3) 教職員の意識改革 (質疑応答)</p>
11:30 } 12:30	<p><input type="checkbox"/> [明星大] サバイバルスキル獲得に向けたトータルな学修・就職支援の展開 ～ START (大学適応、対人関係、就労準備・社会自立) プログラムの実際 ～</p> <p style="text-align: right;">明星大学 小貫 悟</p> <p>1. スキルトレーニングの必要性 (1) トレーニングの位置付け (2) 大学時代に身につけたい力</p> <p>2. 明星大学におけるスキルトレーニングの考え方 (1) 大学適応 (2) 対人関係 (3) 就労準備</p> <p>3. START プログラムの実際 (1) エクササイズの実際 (2) 今後の課題 (質疑応答)</p>
13:30 } 14:30	<p><input type="checkbox"/> 学修支援における合理的配慮の考え方 ～ 大学は何をどこまでやるべきか ～</p> <p style="text-align: right;">信州大学 高橋 知音</p> <p>1. 合理的配慮とは何か？ (1) 「障がい」という概念と合理的配慮 (2) 「障がい」に関わる社会的情勢の変化 (3) 大学に求められていること</p> <p>2. 発達障害のある学生への合理的配慮とは ～ 学修支援を中心に (1) 学修支援の基本的考え方 (2) 講義形式の授業における合理的配慮 (3) 実習形式の授業における合理的配慮</p> <p>3. 発達障害学生支援における支援の全体像と合理的配慮 (1) 障がい学生支援と他の学生支援サービスとの関連 (2) 「困っていない」心配な学生への対応 (質疑応答)</p>
14:40 } 15:40	<p><input type="checkbox"/> [富山大] 大学入学前から学修・就職までのシームレス支援の実際 ～ 青年期の発達をふまえた社会参入支援 ～</p> <p style="text-align: right;">富山大学 西村優紀美</p> <p>1. 高大移行支援 (1) 困難さの現れ方とその対応 (2) 移行支援に必要なポイント</p> <p>2. 修学支援と心理教育的支援 (1) 修学に必要なセルフマネジメント (2) 合理的配慮とパーソナル支援</p> <p>3. 修学から就職へのリンケージ (1) 共通する課題 (2) 地域リソース、企業とのコラボレーション (質疑応答)</p>
15:50 } 16:50	<p><input type="checkbox"/> 「ユニバーサル支援」体制構築の試み ～ 連携・協働に基づいた支援のユニバーサルデザイン化 ～</p> <p style="text-align: right;">立命館大学 中村 健</p> <p>1. 援助会議を軸としたチーム援助のあり方 (1) 情報の共有と行動の連携 (2) 入学前と卒業後の関わり (3) 「見守り」支援とは</p> <p>2. 発達障害学生のキャリア支援 (1) インターンシップの活用 (2) 保証人(保護者・家族)との連携</p> <p>3. 「ユニバーサル支援」の試み (1) 連携・協働のネットワークでの環境づくり (2) 「障害」教育から「生涯」教育へ (質疑応答)</p>